

令和7年度第1回長久手市環境審議会 意見と追記・改訂箇所

項目	意 見	追記・改訂 箇 所
1	P. 53（前回資料）について、太陽光パネルに合わせて蓄電システムを導入してはどうか。	<p>追記・改訂箇所 P56 下線部</p> <p><b>【内 容】</b> 太陽光発電設備及び蓄電池設備の共同購入支援事業（太陽光パネル等の共同購入事業）で市民、事業所の「電力見える化」を促進します。<u>また蓄電池設備の設置については、省エネ効果だけでなく、災害などで停電した場合の電源になるため、災害レジリエンスとしても推奨します。</u></p> <p>追記・改訂箇所 P57</p> <p><b>【実施スケジュール】及び【成果指標（数値目標）】の表記について</b> 「太陽光発電等の設置」を「太陽光発電、蓄電池設備等の設置」に改める。</p>
2	脱炭素について、一番大事なのは市民の意識である。例えば、某薬局ではペットボトル回収に対して消費者にポイントを付与しているが、店には「ついで買い」によるメリットもある。こういった仕組みのように、市民が自発的に環境に良い行動ができると良い。	<p>追記・変更事項 P56 下線部</p> <p><u>市民が自発的に行動できるように、お得なポイントサービス（付加価値）を導入し、みんなで楽しく行動でき、生活に馴染むような事業に取り組みます。</u></p>

## 変更事項 P. 63 下線部

新たな担い手を養成する講座を実施します。  
保全活動を通じて、動植物の生育状況を確認することで、実態の把握に努めます。  
様々な活動団体や、地域、大学、企業も参加し、生物多様性の保全、活用などに向けた研究会に参加します。